

相生市の文化財見学案内

中 部 編

相生市域の文化財の一部を、北部・中部・南部に3分割した見学案内の中部編です。

相生市ホームページから「相生市の文化・歴史」もご覧ください。

相生市教育委員会

生涯学習課

中 部（那波・佐方・緑ヶ丘・那波野方面）



文化財の見学コース順

①市立歴史民俗資料館→②シバナ群落→③水守亀之助文学碑・佐多
稲子文学碑・野口雨情文学碑→④大島山城跡→⑤佐方慈眼寺の梵鐘
→⑥西国街道道標→⑦大塚ハザ古墳→⑧那波野古墳

文化財見学コースのご紹介

①市立歴史民俗資料館

資料館の外観は、若狭野町にあった市内最古の鶴亀高等小学校の明治洋風建物をモデルとしたものです。造船の町「相生」にふさわしい海と船の歴史と「中世の矢野荘」を中心に考古資料、城跡、窯跡など歴史資料、民俗資料を展示しています。

②シバナ群落

シバナは、ホロムイソウ科の多年生植物です。満潮時には干潟となるような場所で生育する大変珍しい植物です。

③水守亀之助文学碑・佐多稲子文学碑・野口雨情文学碑

相生ゆかりの文人の文学碑が建てられています。

④大島山城跡

大島城は長治元年（1104年）海老名家季が城郭を築いたのが始まりといわれています。建武3年（1336年）新田義貞の播州攻めの時、落城したと伝えられています。

⑤佐方慈眼寺の梵鐘

この梵鐘は文明9年（1477年）に美作国長岡荘の上福寺の鐘として、藤原右兵衛尉助弘によって鑄造されたものです。百濟氏の手によってつくられた中世の梵鐘は、岡山県の安国寺に現存するものこの鐘と2例しかなく、大変貴重なものです。

⑥西国街道道標

西国道は揖保川町正条より、那波野・若狭野を通り、有年に向かう現在の国道2号線に沿った旧国道です。江戸時代より参勤交代道として早くから整備され一里塚などもあり、昔の主要道路となっていました。

⑦大塚ハザ古墳

5世紀後ごろにつくられた円墳で、頂部がややへこんでいます。埴輪片が出土しました。駅北第二公園内にあります。

⑧那波野古墳

7世紀ごろつくられた横穴式石室をもつ古墳です。石室の大きさは全長10.6 m、幅2.8 m、高さ3.3 mで、相生市では最大、兵庫県下でも屈指の大きな石室をもつ古墳です。

— MEMO —